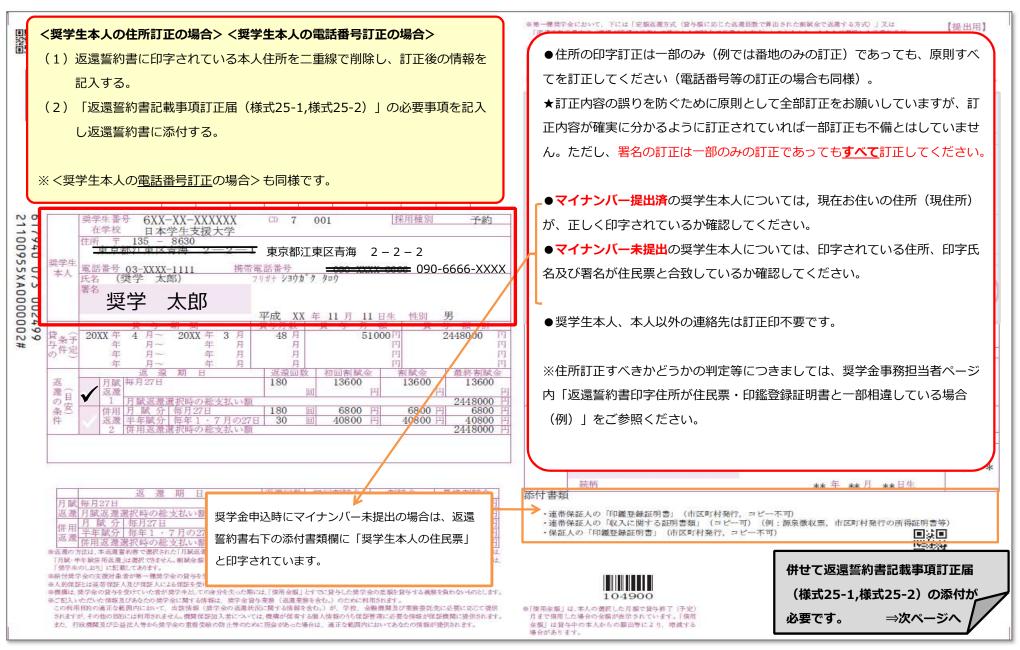
ま

す

2-1. 【返還誓約書】奨学生本人 住所訂正の場合(電話番号訂正の場合)



2-2. 【様式25-1】奨学生本人 住所訂正の場合(電話番号訂正の場合)

_			返還誓約書にほ	印字された日付 令和 △	年 4月1日 奨学生番	号 6 X X -	- 0 4 - 0	0 0 0	0 0	学 籍	番号	ī	1234	56
の用紙の	(右注意書欄参	奨学生本	住所 〒	_F 135 – 8630	東京	江東区青海	9 2 − 2	– 2	ŕ	10 話	番号	03	– XXXX	- 1111
			※①参照						1	携帯	番号	090	– XXXX	- 0000
提出	書が	生木	フリカ゛ナ	^{・・} ショウガク	7	・ウ 生年	月日 S · 田	XX 年 11 月		きが必	要です。	学校窓口に申	し出てくださ	
ロのみで	参照)	人	氏名	獎 学	太	郎				証人等 奨学生 の場合	<i>)のみの</i> 番号」 `本人欄の	<u>)訂正が必要な</u> 「フリガナ」「)他の項目は記	<u>:場合は</u> , 二重 :氏名」のみの !入しないでく	
は 訂		1	訂正(変更)・	新規追加がある場合は該当に	こ〇印を付けて下さい。	郵便番号・住	所·電話番	号 • 携 带:				人欄について記入が必要で		がある場合は
正	迈 還		印鑑登録 =	F —	都道				í	10 話	番号	-	_	_
変更	誓約	内 上 の 大 的 保 証)	●本人欄に	ついて一部でも記	丁正がある場合は、				1	善	番号	-	_	_
f.	書上		本人欄は	は全項目への記入な	が必要です。		∃ S · H	年 月	E F	カ 務	先 名	1		←無職の 記入す
見新見規	訂		■「欠細に	- 711 7 - ~ \ -	たミココ ナフラ レルコ	~ + + + + /	<u>-</u>	続柄	1	務	先 Te			_
追加は	上、変更			- 表記で記入して	を記入することは ⁻ ください。	じさません。		コード ※続柄コートコートコートコートコートコートコートコートコートコートコートコートコートコ	こついてし		連帯保証	E人の選任条件	-を確認の上、	全てご記入くが
でき			印鑑登録 証明書に …	-	市場 府県				i	1 話	番号	-	_	_
ませ	の新人規	1 1	記載の住所						1	馬帯	番号	-	_	_
, <i>l</i>	物追が加	的保証人	フリカ゛ナ	1	<i>\$</i> 1	生年	月日 S・H	年 月		務	先 名			←無職 <i>の</i> 記入オ
必ず返	記が 入 う		氏名	生	名	続柄	i	続柄コード		为 務	先 T _E	<u> </u>		ご記入ください
還	/- 人 物		訂正 (変更) 事由 ※続柄ゴード について は裏面参照のこと						こついて					
坚誓	の	の欄	現住所 …	-	都道 府県				Í	話	番号	-	_	_
誓約									1	- 帯	番号	+	_	_
誓約書上	4	関終	フリカ゛ナ		<i>\$</i> 1	生年	月日 S・H	年 月	日					
誓約書上でも	全て記	ᄰ모ᄱ	ф.	性	名	続柄		続柄	×	(奨学生	本人以外	とでなければな	りません。	
誓約書上で	全て記入(原則	(機関保証)	氏名			初代代	'	コード						

3. 【返還誓約書】奨学生本人 氏名訂正の場合



< 学学生本人の氏名訂正の場合>

(1) 印字氏名を漢字・フリガナ両方とも二重線ですべて削除し、訂正後の情報を書き込む

※第一種奨学会において、下には「完額返還方式(貸与額に応じた返還回数で算出された削減会で返還する方式)」又は

- (2) 返還誓約書の署名は、住民票の表記(=訂正後の氏名)のとおり行う
- (3) 金融機関にて振込口座名義変更を手続きさせたうえで「改氏名届」 (様式3) を提出し直ちに学校でスカラACから改氏名を処理する
- ※本人の氏名訂正のみの場合「返還誓約書記載事項訂正届」(様式25-1、様式25-2)は提出不要です。
- ※改名の場合は、返還誓約書上は上記(1)及び(2)と同じ対応をとりますが、スカラACでの改氏名処理は行わず、必要書類を提出する必要があります(【参考】改名の必要書類について「貸与奨学金事務手引」第5章)

***	********	*****	
***	電話番号 ************	携带電話番号 ************************************	***
***	署名	フリガナ	
	**************************************	** 年 ** 月 ** 日生	* * *
* * *	住所 〒 -		
* * *	********		
* * *	電話番号 ***********	携带電話番号 *************	* * *
* * *	氏名 *********** 署名	7リガナ	
	********		* * *
	続柄	** 年 ** 月 ** 日生	

- ・連帯保証人の「印鑑登録証明書」(市区町材発行。コピー不可)
- ・連帯保証人の「収入に関する証明書類」(コピー可) (例:源泉徴収票,市区町村発行の所得証明書等)
- ・保証人の「印鑑登録証明書」(市区町村発行、コピー不可)

104900

※「備用金額」は、本人の選択した月額で貸与終了(予定) 月まで復用した場合の金額が変示されています。「備用 会割」は貸与中の本人からの顧出等により、増減する 場合があります。 返還誓約書記載事項訂正届 (様式25-1,様式25-2) の添付は 不要です。

HOSSESSE

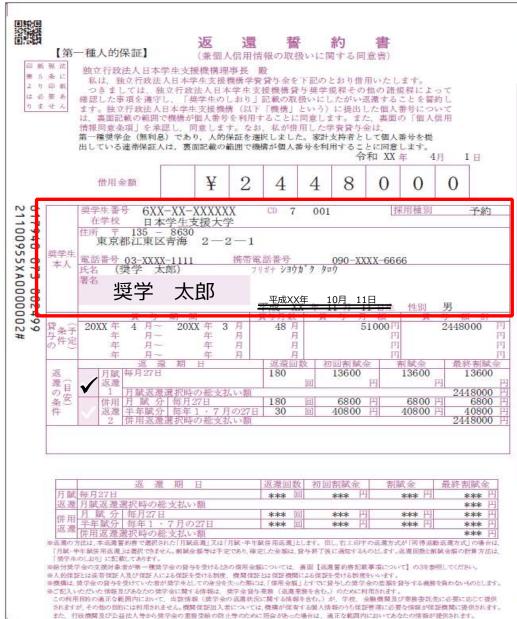
未成年用には親権者欄があります

Ж

[提出用]

供されます。

4. 【返還誓約書】奨学生本人 生年月日訂正の場合(性別の訂正の場合)



<奨学生本人の生年月日訂正の場合>

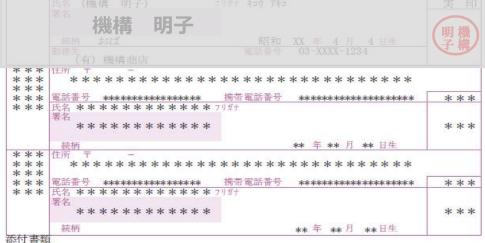
(1) 返還誓約書に印字されている情報を二重線で削除し、訂正後の生年月日を 記入する。

※第一種奨学金において、下には「完福返還方式(貸与額に応じた返還回数で算出された削減金で返還する方式)」又は

※訂正印、「返還誓約書記載事項訂正届」(様式25-1,様式25-2)は不要。

(2) あわせて、「項目訂正願(届)」(様式30)を記入のうえ、異動・補導係 宛にFAX送付または郵送する。

※〈奨学生本人の性別訂正の場合〉も同様です。



- ・連帯保証人の「印鑑登録証明書」(市区町村発行、コピー不可)
- ・連帯保証人の「収入に関する証明書額」 (コピー可) (例:源泉徴収票,市区町村発行の所得証明書等)
- ・保証人の「印鑑登録証明書」(市区町村発行、コピー不可)

104900

※「備用金額」は、本人の選択した月額で貸与終了(予定) 月まで復用した場合の金額が変示されています。「備用 会割」は貸与中の本人からの顧出等により、増減する 場合があります。 返還誓約書記載事項訂正届 (様式25-1,様式25-2) の添付は 不要です。

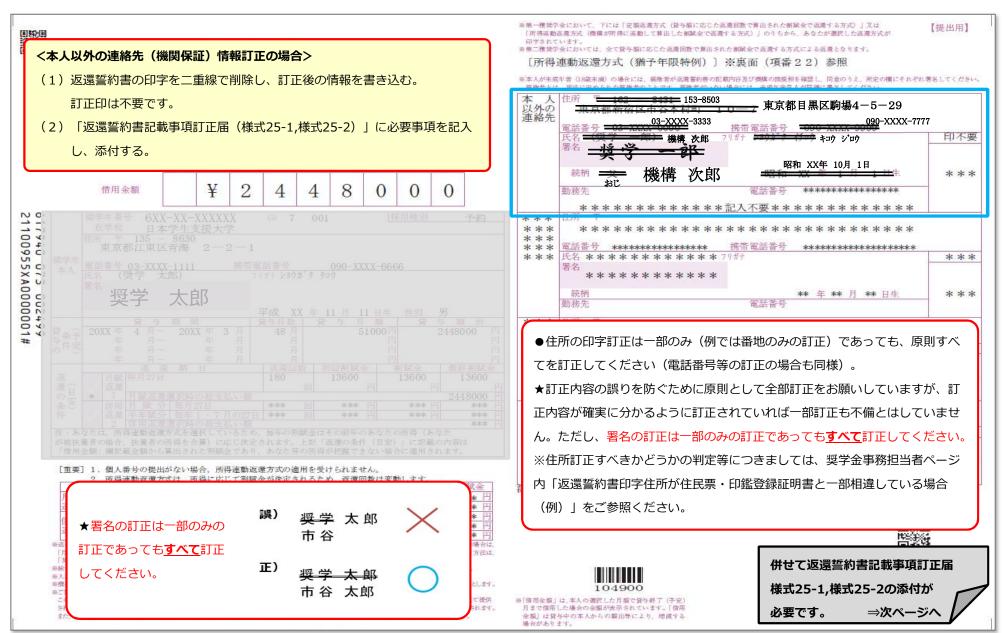
回菜回

H2534564

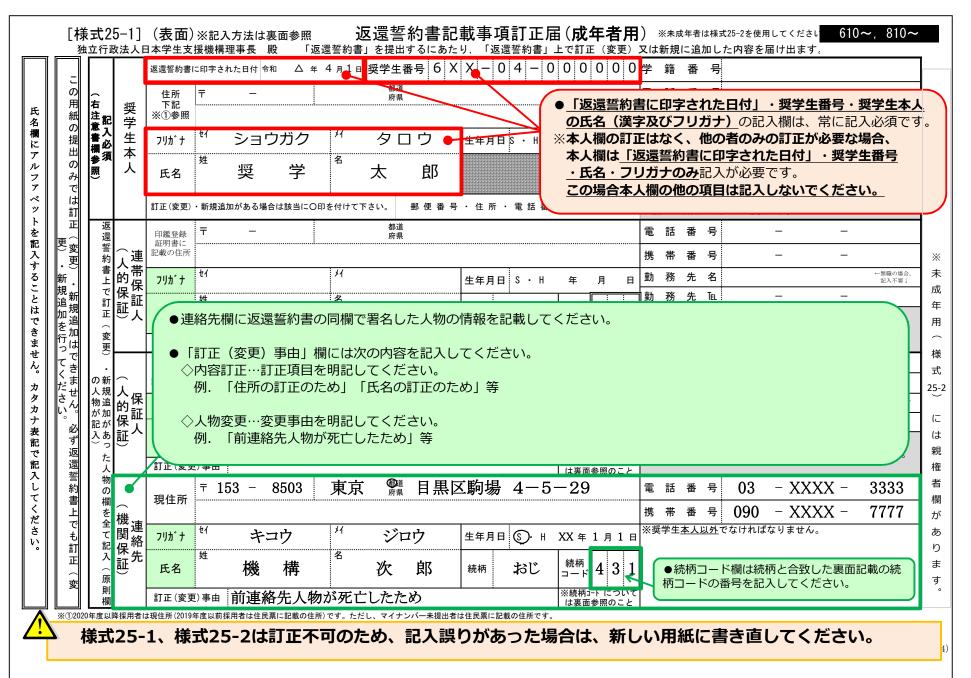
※未成年用には親権者欄があります

【提出用】

9-1. 【返還誓約書】本人以外の連絡先(機関保証)情報訂正の場合



9-2. 【様式25-1】本人以外の連絡先(機関保証)情報訂正の場合



9-3. 【保証依頼書】訂正の場合

(機構・協会用)

① 保証依頼書(兼保証委託契約書)

〈保証依頼書訂正の場合〉

誤った部分を二重線で削除し、各欄内に正しい事項を記入してください。 訂正印は不要です。 申达日 今秋X 年 4 1

・う。) の奨学金の貸与を申し込むにあたり、機構に対するインターネットに びに確認書の記拠内容により申込みをする奨学金の貸与(返還)について保証 販事項]を確認したうえて、公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「協会」

った場合、機関保証への加入が無効となっても異議はありません。

を行い、毎月の貸与額は、真に必要な額を選択している。

- ・奨学金は責任を持って返還する必要がある(保証料を支払うことで返還が免除されることはない。)。
- ・奨学金の返還が困難な場合、救済制度(緘額返還、返還期限猶予)がある。
- 契学金の返還を一定期間延修した場合、私の代わりに協会が機構に対し返済するが(これを代位弁済という。)、その後私は協会に対しその分を返済しなければならない。
- ・代位弁済が行われるとその情報が個人信用情報機関に登録され、延滞情報が登録された時と比べクレジットカードや住宅ローン等の利用に、より厳しい割約を受けることがある。

学 校 名 学郷・課程・分野 学科·專攻·研究科 6 X X 10 14 10 10 10 10 10 10 日本学生支援大学 経済 学校の程題 大学(学部) ・ 大学院 ・ 短期大学 ・ 高等専門学校 ・ 専修学校(専門課程) フリガナ 太郎 -20XX 年11 月 11 日 自 $\sqrt{135-8630}$ 電話(自宅・携帯) 090 (XXXX) 0000 現住所 東京都汀東区青海2-2-1

住所は「現住所」を記入してください。

署名の一部訂正・部分訂正は不可です。 全てを二重線で消して訂正してください。

誤) 奨学 太郎 市谷



正) 安学 太郎

② 保 証 料 支 払 依 頼 書 独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿



未

成

年

用

に

は

親

権

者

が

あ

ります

上記保証依頼書による保証委託契約に基づいて、私が公益期団法人日本国際教育支援協会に支払うべき保証料については、 奨学金の交付の際に貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構があらかじめ差し引いて支払うこととしてください。

(注)この保証依頼書及び保証料支払依頼書については、返還誓約書と同時に学校に提出してください。

本書にご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、公益財団法人日本国事教育支援協会(以下「協会」という。)が行う保証業務及び独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)が行う奨学金貸与業務(返進業務を含む。)のために利用されます。

この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む。)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が協会に提供されます。

公益財団法人 日本国際教育支援協会理事長 殿

 学校使用欄)

 プロイタののの

 (機構・協会用)

 (2023.04)

保証依頼書(兼保証委託契約書)の申込日と保証料支払依頼書の依頼日を訂正する場合は、二重線で訂正してください(訂正印は不要です)。

訂正があった場合は、二重線で訂正してください(訂正印は不要です)。

なお、生年月日を西暦で記載した場合、訂正が必要です。

電話(自宅・携帯)のいずれ かを選択して〇で囲い、番号 を記入してください。